

第1回 那覇空港滑走路増設関係者連絡調整会 議事概要

1. 開催日時

平成22年5月12日（水）14:00～15:00

2. 開催場所

沖縄県南部合同庁舎5階大会議室

3. 出席者

(1) 構成員

内閣府沖縄総合事務局長

竹澤 正明

国土交通省大阪航空局長

片平 和夫

沖縄県副知事

上原 良幸

(2) オブザーバー

国土交通省航空局空港部計画課空港計画企画官

長谷川 武

(3) 関係者

内閣府沖縄総合事務局開発建設部長

浦辺 信一

内閣府沖縄総合事務局那覇港湾・空港整備事務所長

津田 修一

国土交通省大阪航空局空港部次長

八木千津男

国土交通省大阪航空局那覇空港事務所長

大塚 憲郎

沖縄県企画部長

川上 好久

4. 主な議題

(1) 那覇空港滑走路増設関係者連絡調整会の設置について

(2) 那覇空港滑走路増設計画のこれまでの検討経緯について

(3) 滑走路増設配置案について

(4) 平成22年度 環境アセスメント及び今後のスケジュール（案）について

5. 議事概要

(1) 初めに、那覇空港滑走路増設関係者連絡調整会設置要綱（案）について関係者の了解がなされた。

(2) 次に、事務局より、次第に沿って資料を説明し、議題毎に意見交換がなされ、滑走路増設配置案及び今年度実施予定の土質調査及び環境現況調査等のスケジュール（案）について関係者の確認が得られた。

(3) 今年度の主なスケジュール（案）は、土質調査の原位置試験を6月頃に、環境影響評価方法書の公告・縦覧を8月頃に開始することを予定していること。

(4) 次回の那覇空港滑走路増設関係者連絡調整会については、事務局で検討した上で、関係者の確認を得た後に開催することが確認された。

(5) 本連絡調整会における主な意見は、以下のとおり。

(イ) 沖縄県の発展には那覇空港の拡張が重要。拡張は復帰後から今まで望まれてきており、沖縄県としては、関係者と一緒に早期供用に向けた必要な協力に取り組みたい。

(ロ) また、空港周辺地域には多数の産業が存在しており、空港の機能強化は物流面でも沖縄振興に資するため、早期供用が重要。

- (ハ) 航空需要予測を含め、将来、那覇空港が成功事例として発展して行けるよう努力したい。
- (ニ) 昨年度開始された那覇空港の貨物基地構想は、順調に取扱貨物量が推移している。今後、那覇空港での貨物の積替え時に付加価値を付ける等の取組が必要ではあるが、この構想は将来希望が持てる展望があると感じている。
- (ホ) 那覇空港の利用がますます増進されるように、国際線旅客ターミナル整備等現在実施中の事業を着実に実施したい。
- (ヘ) 滑走路配置案について、施設計画段階よりも滑走路北側の一部面積が必要無くなったため、配置案を変更しているが、このことにより、空港の運用及び就航率については、特段の影響は生じない。
- (ト) 滑走路は供用されて始めて皆様に価値を認識して貰えるため、2本目の滑走路が早期に供用できるように、できることを取り組みたい。
- (チ) 那覇空港の滑走路増設は、沖縄にとって重要なプロジェクトであり、かつ、緊急性の高いプロジェクトである。今後の環境アセスメント等の実施に向けては、関係者及び地元の各方面の協力が必要になるため、ご支援をいただきながら、早期整備に向けて最大限取り組みたい。